



3場所連続で勝ち越し

大相撲十一月場所（11月13日～27日）

白鷹山が自身最多となる6個の白星をつけ、見事3場所連続で勝ち越ししました。

前半戦はここ2場所同様3勝1敗と順調な滑り出し。これまででは後半戦の取組に苦戦していましたが、今場所の白鷹山はここから本領発揮！後半戦もすべて勝ち6勝1敗と堂々の成績を収めました。

三段目昇進の目安（70枚目以内で6勝1敗）をクリアしたので、来場所は三段目へ昇進となるようです。

今後、これまでと比べものにならないような相手との取組が増えてくると思いますがあせらずじっくり心・技・体を鍛えてほしいと思います。

白鷹山星取表

取組	星取	決まり手
2日目	○	押し倒し
4日目	○	押し出し
5日目	○	寄り切り
8日目	●	突き落とし
9日目	○	すくい投げ
12日目	○	寄り倒し
千秋楽	○	押し出し

序二段東56枚目 6勝1敗

今場所を振り返って

（白鷹山本人のコメント）

こんにちは、白鷹山です。毎年11月は九州で場所が開催されるので、自分も10月末から福岡に来てます。

今場所は初日から調子が良く、面白い様に腕も伸びていて、なんと3連勝もする事が出来ました。勝ち越しを賭けた一番に負けてしまい、勢いが無くなるかなとも思いましたが、むしろさらに調子が上がり、後半も3連勝する事が出来ました。

まさか6勝もする事が出来るとは夢にも思いませんでしたが、これもひとえに皆さまの応援のおかげです。感謝すると共に、これからも応援よろしくお願い申し上げます。来場所は三段目で相撲を取る事になるので、今までの様に勝ち越す事は難しいですが、全力で頑張りたいと思います。



由佳のヒストリー日記

今まで、さまざまな立場

・自分の人たちと接しました。出稼ぎの子に、「日本では馬をとめる時、何て言うの？」と聞かれ、分からないと言うと、何でそんな事もわからないの？という顔をされました。その時、自分の中の常識は全く通用しないと気づきました。活動において、現地の人には何が必要で何を求めているかを適確に把握する必然性を思い返すきっかけとなりました。と同時に、自分のすべき事、ボランティアについて考えさせられました。急な停電など、臨機応変に対応すべき場面にも多々遭遇しましたが、

その時々には、エジプト人の生きる強さを感じました。

また、立派な建物の裏には、木に布をかぶせただけの家があるなど、顔や服装を見ただけでも、生活の差を如実に感じました。子供に物乞いをさせ、裏で大人がお金を徴収している現実。今でも言葉では言い表せない、もやもやとした気持ちになります。その一方、バスにお金がない人が乗車しても、他の人が自然と出してくれる時があります。イスラム教の影響は大きく、イスラム教の話を聞く事が生活のあり方を理解する一つの方法でした。

エジプトは、よくも悪くも感情のままに行動する事が許される国だと思います。表情や態度で気持ちがすぐにわかります。ただし、悲しい時にそれに気づいていつまでも話を聞き、心を落ち着かせてくれる、ケンカを仲裁してくれる。

（※）喜捨：進んで金銭や物品を寺社や困っている人に差し出すこと

る、間違いを教えてくれる人がいる。だからこそ感情のままに行動する事がプラスとなり、またみんなの心が近く、いつも笑っている印象が強い国なのだと思います。多くの人と話す事で、時間や規則とは違う、生活の中で大切にすべきものを学んだように思います。活動では、学ばされる事が多かったですが、私がいしたこと、目に見えない点においてでも少しでも多くの影響を与えられたいと思います。

日本の状況が大変な中、海外への支援に理解を示してくださったかたがたに深く感謝いたします。 芳賀由佳



活動先の子どもたち

「由佳のエジプト日記」は、今回が最終回。全4回の投稿をいただいた芳賀さん、本当にありがとうございました。